

平成 30 年度

事 業 報 告 書

平成 30 年 4 月 1 日から
平成 31 年 3 月 31 日まで

公益社団法人日本動物園水族館協会

第1章 協会の概要

I 設立年月日

昭和14年11月17日 任意団体として発足

昭和40年11月22日 文部省社会教育局(現在は文部科学省生涯学習政策局)所管の社団法人となる。

平成24年4月1日 公益社団法人へ移行

II 定款に定める目的

本公益社団法人は、動物園、水族館事業の発展振興を図ることにより、文化の発展と科学技術の振興並びに自然環境の保護保全に貢献し、もって人と自然が共生する社会の実現に寄与することを目的としている。

III 定款に定める事業内容

1. 動物園水族館に関する調査研究事業
2. 動物園水族館に関する教育普及事業
3. 動物園水族館に関する種保存事業
4. 動物園水族館に関する支援事業
5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

IV 監督機関に関する事項

内閣府公益認定等委員会

V 会員の状況

1. 会員の現状

種 類	平成31年3月末	前期末比較増減	備 考
正会員	150名 (動物園91、水族館59)	動物園 ±0 水族館 -1	退会 青森県営浅虫水族館
維持会員	66団体		

2. 正会員の異動に伴う入退会

平成30年度期間中：27名退会、27名入会

VI 事務所の所在地

東京都台東区台東4-23-10 ヴェラハイツ御徒町402

VII 総裁・役員等に関する事項

1. 総裁に関する事項

役職名	氏 名	就任年月日	摘要
総 裁	秋篠宮文仁親王殿下	昭和63.5.25	

2. 役員に関する事項

役員一覧(平成31年3月31日現在)

役職	氏名	就任 年月日	役員就任 年月日	現職	手 当	執行担当・職務
理事	伊勢 伸哉	30.5.17	27.5.28	小樽水族館館長	無	副会長
〃	本川 博人	30.5.17	28.5.26	男鹿水族館 GAO 館長	〃	ブロック代表理事
〃	辻本 恒徳	30.5.17	28.5.26	盛岡市動物公園園長	〃	安全対策委員長
〃	佐藤 哲也	30.5.17	28.5.26	那須どうぶつ王国園長	〃	生物多様性委員長
〃	福田 豊	30.5.17	26.5.22	東京都恩賜上野動物園園長	〃	会長
〃	勝俣 浩	30.5.17	30.5.17	鴨川シーワールド館長	〃	
〃	原 久美子	30.5.17	30.5.17	横浜市立金沢動物園	〃	教育普及委員長
〃	岩渕 肇	30.5.17	28.5.26	浜松市動物園園長	〃	
〃	黒邊 雅実	30.5.17	28.5.26	名古屋市東山動物園園長	〃	総務委員長・ブロック 代表理事
〃	鈴木 隆史	30.5.17	28.5.26	越前松島水族館館長	〃	
〃	片山 博昭	30.5.17	29.5.23	京都市動物園園長	〃	地域委員長・ブロック 代表理事
〃	今津 孝二	30.5.17	30.5.17	アドベンチャーワールド園長	〃	
〃	南 心司	30.5.17	30.5.17	広島市安佐動物公園園長	〃	ブロック代表理事
〃	室町 宏	30.5.17	30.5.17	宮島水族館館長	〃	
〃	出口 智久	30.5.17	24.5.23	宮崎市フェニックス自然動物 園園長	〃	副会長
〃	中村 雅之	30.5.17	30.5.17	マリワールド海の中道館長	〃	ブロック代表理事
〃	成島 悦雄	30.5.17	28.5.26	公益社団法人日本動物園水族 館協会専務理事	有	専務理事
監事	植田 行宏	30.5.17	28.5.26	伊豆三津シーパラダイス 支配人	無	
〃	上山 裕之	30.5.17	30.5.17	神戸市立王子動物園園長	〃	

VIII 議決機関

総会：年1回開催、正会員で構成する。

理事会：理事17名で構成し、年数回開催する。

IX 執行機関

【会長、副会長、専務理事、執行理事】

執行委員会：委員長、副委員長、委員を置き、事業計画に基づく専門事項の計画、執行を担当する。また、各委員会の下に専門部会を置く。

- ・総務委員会（7名）：倫理、福祉、地域区分、定款・諸規定、重要な法人管理、その他の委員会に属さない事項に関すること
- ・教育普及委員会（4名）：園館職員の人材育成、動物園水族館雑誌の発行、一般に対する普及啓発活動に関すること
- ・安全対策委員会（4名）：園館施設・職員の安全及び衛生対策、災害対策、危機管理などに関すること
- ・生物多様性委員会（5名）：世界・国内戦略、資源確保、域外保全、種保存などに関すること
- ・地域委員会（5名）：地域園館の活性化、人材育成、災害・安全対策など地域間連携、加盟園館、維持会員の拡大などに関すること

地域別会議：各ブロックに代表理事をおき、ブロック内協議会、研修会、研究会等を開催する。

- ・関東東北・北海道ブロック ・中部ブロック ・近畿ブロック
- ・中国四国ブロック ・九州沖縄ブロック

広報戦略室：会長、副会長、専務理事、教育普及委員長

X 広報戦略会議：外部委員3名、顧問3名、会友1名、広報戦略室委員で構成する。

XI 事務局：専務理事、事務局長、職員3名、嘱託1名

XII 諮問機関

顧問（3名）：専門知識を有し、理事会が推薦した者

会友（93名）：園館長歴5年以上、及び特別な功勞のあった者で、理事会が承認した者

XIII 監査機関

監事（2名）：動物園から1名、水族館から1名就任

第2章 事業概要

当協会は、平成24年度の公益社団法人化を契機に、社会貢献等の対外的活動・発信を強化し、そのための体制強化を図る協会改革を実施してきた。平成26年度までに執行理事の下に整理された事業運営体制の構築、活動の方向性を示すビジョンと戦略の策定等を行い、その達成に向けた事業が進められた。

平成30年度は、倫理福祉規程に基づく会員園館を対象とした、動物福祉ワークショップの開催、国内飼育イルカ問題を検討するための会議を実施した。また、第10回世界水族館会議への参加、JAZA10年ビジョンを更新するための広報戦略室会議の開催、協会の健全な経営を検討するための特別委員会の開催、環境省との連携による稀少動物の保全についても継続的な活動を行い、社会に貢献する公益法人としての適切な活動を展開している。

第3章 実施事業

I 広報戦略室事業

広報戦略室は、協会の基本理念・戦略の作成、協会活動の発信等の基本戦略を更新するための広報戦略室会議を開催した。

1. 執行体制

広報戦略室委員：会長、副会長2名、専務理事、教育普及委員長

広報戦略会議：外部委員3名、顧問3名、会友1名、広報戦略室委員

2. 事業の実施

JAZA10年ビジョンの基本戦略を再検討し、新たなビジョンとして更新するための広報戦略室会議を開催した、また次年度も引き続き会議を開催し、10年ビジョン基本戦略野再検討について議論する。

II 総務委員会事業

総務委員会は協会の根幹となる定款、規定等の整備、動物倫理福祉のあり方検討、情報発信の企画調整、動物の栄養の検討、水族館にかかる調整・調査などの事業を実施している。

情報システム運営部においては、公開、非公開のホームページ運営・更新、セキュリティの検討・更新、新しい血統登録ソフト開発及び作成について作業を実施した。

倫理福祉部においては規定の見直しと要綱を作成し、現在、JAZA版の動物福祉自己点検票の準備を行うと同時に、福岡市動物園を会場として第3回目の動物福祉に係るワークショップを開催した。

栄養部はSEAZAの栄養ネットワークとの連携、アンケート結果のまとめ、会員向けのシンポジウムを東京・京都の2会場にて開催した。

水族館部においてはイルカ混獲にかかる水産庁との調整及び水族館部会の開催、ラッコ生息調査等を検討した。

1. 執行体制

(1) 構成

委員会：委員長、副委員長、委員5名

情報システム運営部：部長、部員4名

倫理福祉部：部長、部員4名

栄養部：部長、部員4名

水族館部：部長、部員5名

(2) 委員会、部会の開催

次の委員会・部会を開催し、関係事業を実施するため、議題に基づく意見交換、検討、問題解決、意思決定等を行った。

1) 第1回倫理福祉部会

開催日：平成30年4月13日 開催場所：横浜市立野毛山動物園研修室

出席者：部長他6名

議題：① 動物福祉評価ワークショップについて

② 動物福祉自己評価チェックリストの作成について他

2) 第1回情報システム運営部会

開催日：平成30年7月19日 開催場所：東山動物園動物会館

出席者：部長他 7 名

議題：① JAZA サーバー保守等の継続について

② サーバーSSL 化について

③ 追加事業について

④ CPOS システム運用保守について

⑤ 個体群管理ソフト（JMS）について

⑥ 動水誌などの文献データベース公開、公開・会員ホームページの改修について

3) 第 1 回総務委員会

開催日：平成 30 年 9 月 21 日 開催場所：協会事務局

出席者：委員長他 8 名

議題：① 各部会の報告

② ペンギン募金箱の補修について

③ SEAZA との連携について

④ 海獣用ミルク開発について

⑤ 過去に実施した宿題調査等のデータ取扱について

4) 第 1 回栄養部会

開催日：平成 30 年 11 月 6 日 開催場所：上野動物園会議室

出席者：委員長他 5 名

議題：① シンポジウム開催に向けた検討

② 31 年度の活動について

② SNN プロジェクトについて（SEAZA 栄養ネットワーク会議の報告）他

5) 第 1 回水族館部会

開催日：平成 30 年 11 月 19 日 開催場所：大阪・海遊館

出席者：部長他 8 名

議題：① 水族館部の事業区分について

② 次年度事業計画について他

6) 第 2 回水族館部会

開催日：平成 31 年 1 月 31 日 開催場所：東京文化会館会議室

出席者：会長、総務委員長他 11 名

議題：海外のバンドウイルカについて

7) 第 1 回イルカ会議

開催日：平成 31 年 1 月 31 日～2 月 1 日 開催場所：東京文化会館、東京海洋大学会議室

出席者：32 園館 50 名、水産庁・協会 5 名

議題：イルカ問題に関して（WAZA 関連、国内問題など）

2. 事業の実施

(1) 情報システム運営部事業

1) 会員 HP への認証方法の変更について

2) 新しい血統登録ソフトの開発について

(2) 倫理福祉部事業

1) 動物福祉に関するワークショップの実施

- 2) JAZA 版動物福祉の自己評価チェックリストの検討
- (3) 栄養部事業
 - 1) SEAZA 栄養ネットワークとの連携
 - 2) シンポジウムの開催
開催日：平成 31 年 1 月 29 日（東京）、30 日（京都）
開催場所：多摩動物公園動物ホール、京都市動物園レクチャールーム
出席者：東京 24 園館 73 名、京都 23 園館 45 名（その他両会場に講師、栄養部員、事務局）
内容：① 栄養部会の取り組み
② 講演 i：動物園・水族館で飼育される野生動物の栄養について
ii：JAZA 栄養部会の調査と SEAZA との連携について
iii：飼育動物のための栄養パラメーター
- (4) 水族館部事業
 - 1) イルカ混獲に係る水産庁との調整
 - 2) ラッコ生息調査の検討
- (5) その他
協賛に関する事項
後援名義等の申請に関する審査…後援 45 件

Ⅲ 教育普及委員会事業

教育研修部・普及啓発部・学術研究部の各部で部会会議を開き、平成 30 年度の事業に関する準備・実施等に関する討議・打ち合わせを経て、諸事業が遅滞なく実施されるように努めた。また、環境省との「生物多様性保全の推進に関する基本協定」に基づく新たな事業や取り組みに、①国連生物多様性の 10 年日本委員会 (UNDB-J) の推進する事業への協力、②外来種被害防止に資する事業への協働等に積極的に関与して、(公社) 日本動物園水族館協会の存在や活動内容を社会に広く周知するために努力した。

その他として、新・飼育ハンドブック改訂版発行に向けた編集委員会の設立と編集作業に入り、平成 31 年度初頭の発行へ向けて執筆及び編集に取り組んだ。

1. 執行体制

(1) 構成

委員会：委員長 1 名 副委員長 1 名 委員 3 名（うち兼務あり）

教育研修部：部長 1 名 部員 5 名

普及啓発部：部長 1 名 部員 5 名

学術研究部：部長 1 名 部員 6 名

(2) 委員会、部会の開催

1) 第 1 回教育普及委員会

開催日：平成 30 年 7 月 13 日 開催場所：協会事務局

出席者：委員長他 4 名

議題：① 平成 30 年度事業及び人事について

② 新・飼育ハンドブックの改定について他

2) 第 1 回教育研修部会

開催日：平 30 年 9 月 13 日～14 日 開催場所：NIFREL

出席者：委員長他 8 名

議題：① 平 30 年度飼育技師資格認定試験について

② 飼育ハンドブック改定について

③ 上級試験について

3) 第 1 回普及啓発部会

開催日：平成 30 年 9 月 23 日 開催場所：協会事務局

出席者：委員長他 7 名

議題：① 参加型研修会について

② いきもの学びネットについて

③ 新飼育ハンドブックの改定について他

4) 第 1 回学術研究部会

開催日：平成 30 年 10 月 4 日 開催場所：協会事務局

出席者：顧問・委員長 10 名

議題：① 動水誌投稿論文進捗状況について

② 今後の掲載論文、発刊進行について

③ 技術者研究会について

④ 投稿規定の見直しについて他

5) 第 2 回教育研修部会

開催日：平成 31 年 1 月 24 日～25 日 開催場所：協会事務局

出席者：出席者：委員長他 14 名

議題：① 飼育技師資格認定試験答案の採点及び合否判定案作成

② 平成 31 年度教育研修部事業計画について他

6) 第 2 回学術研修部会

開催日：平成 30 年 2 月 6 日 開催場所：協会事務局

出席者：顧問・委員長他 13 名

議題：① 動水誌投稿論文進捗状況について

② 今後の掲載論文、発刊進行について

③ 技術者研究会について

④ 投稿規定の見直しについて他

7) 第 2 回普及啓発部会

開催日：平成 31 年 2 月 25 日 開催場所：協会事務局

出席者：委員長他 7 名

議題：平成 31 年度実施事業について他

2. 教育研修部事業

(1) 会員園館職員の研修に関する事業

各ブロックで開催されている飼育係研修会の調査・整理と助言を行った。

(2) 飼育ハンドブック事業に関する事業

新飼育ハンドブック（改訂版）について、検討を行った。

(3) 飼育技師資格認定試験に関する事業

会員園館の飼育技術者を対象に、人材育成を図るため「第 47 回飼育技師資格認定試験」を実施した。

開催日：平成 31 年 1 月 15 日 開催場所：29 園館の試験場
申込者：348 名（動物園 204 名、水族館 144 名）
受験者：339 名（動物園 197 名、水族館 142 名） 9 名未受験
合格者：314 名（動物園 184 名、水族館 130 名） 合格率：92.6%

3. 普及啓発部事業

(1) 会員園館職員の研修に関する事項

会員園館の職員を対象に、参加者がテーマを基に教育プログラムを企画・立案・発表を行い、各園館における新たな教育プログラムの開発に繋げる研修を実施した。

1) 動物園参加型研修会(ワークショップ)

開催日：平成 31 年 1 月 24 日～25 日 開催場所：名古屋市東山動物園

参加者：30 園館 40 名

テーマ：視覚障害者を対象とした特別支援学校向け環境教育プログラムの開発

2) 水族館参加型研修会(ワークショップ)

開催日：平成 30 年 12 月 13 日～14 日 開催場所：鶴岡市立加茂水族館

参加者：26 園館 34 名

テーマ：水族館を利用した食育プログラムの開発について

(2) 社会への普及啓発に関する事項

動物愛護精神の普及啓発を図るため次の事業を実施した。

1) 飼育の日事業

期間：平成 30 年 4 月 19 日

内容：各園館において飼育に関する各種催事を実施し、動物園水族館事業の社会への普及啓発に努めた。

2) 動物愛護に関する標語募集(43 回)

募集期間：平成 30 年 7 月 1 日～7 月 31 日

内容：各園館にて一般の人を対象に動物愛護精神普及啓発を図る標語コンクールを実施した。

応募総数：59 園館 7,930 点 うち中央審査対象標語 231 点

3) 環境省外来生物対策室との協同事業

新宿御苑みどりフェスタ

開催日：平成 30 年 4 月 29 日 開催場所：新宿御苑

内容：外来種被害防止関連の広報活動

4) 動物愛護週間中央行事

① 屋内行事

開催日：平成 30 年 9 月 15 日 開催場所：台東区生涯学習センター

内容：動物愛護標語の入賞者への表彰式を行った。

② 屋外行事

開催日：平成 30 年 9 月 22 日 開催場所：上野恩賜公園野外ステージ他

内容：環境省主催の「動物愛護フェスティバル」行事の実行委員会として様々なイベントを実施し、広く一般に動物愛護の普及啓発に努めた。

5) いきもの学びねっとの普及に関する事業

既存の広報用チラシを随時会員園館へ配布するとともに、動物愛護週間中央行事屋外イベントな

どにおいてポスター発表を行った。

6) 協会事業の広報普及に関する事業

協会事業を開設するポスターパネルを作成し、動物愛護週間中央行事、日本獣医師会主催行事等に掲示、解説を行った。

4. 学術研究部事業

(1) 技術者研究会等に関する事項

1) 第 66 回動物園技術者研究会

開催日：平成 30 年 9 月 27 日～29 日 開催場所：おびひろ動物園

出席者：会長、副会長、71 園館 102 名（学術研究部員、その他含む）

研究発表：28 題 ポスター発表：10 題 宿題調査報告：1 題 その他懇談事項

2) 第 63 回水族館技術者研究会

開催日：平成 30 年 10 月 30 日～31 日 開催場所：のとじま臨海公園水族館

出席者：秋篠宮総裁殿下、会長、副会長、52 園館 97 名（学術研究部員、その他含む）

研究発表：16 題 話題提供：4 題 宿題調査報告：1 題 その他報告・懇談事項

3) 第 44 回海獣技術者研究会

開催日：平成 30 年 12 月 4 日～5 日 開催場所：鳥羽水族館

出席者：副会長、43 園館 78 名（会友 1 名、その他含む）

研究発表：13 題 話題提供：5 題 宿題調査報告：1 題 その他報告・懇談事項

(2) 動物園水族館雑誌に関する事項

動物園水族館での飼育業務を通じて得た知見等を主体に各研究会での発表抄録等を掲載した「動物園水族館雑誌」60 巻 1～4 号を発行した。

発行部数は各号 650 部、本刊行物は正会員・維持会員・会友及び国内外の関係機関に無償頒布するとともに一般にも有償頒布している。

(3) 研究成果に対する表彰に関する事項

1) 技術者研究表彰

原著「鉄過剰症が疑われたヒガシクロサイの治療例」 (掲載号：第 60 巻 3 号)

著者：宗内一平、曾地千尋、牛尾佳名子、吉住和規、橋本 渉（仙台市八木山動物公園）

2) 古賀賞表彰

※ 平成 30 年度の表彰はなし

IV 安全対策委員会事業

安全対策部、災害対策部、感染症対策部が、事故や災害などに対する事前の準備と発生時の対応、予防対策のほか、会員園館への情報発信等の事業を行っている。

安全対策部は、飼育動物による人身事故発生を受け、事故状況調査とともに会員園館への注意喚起を行った。また、検討課題である安全対策ガイドラインの策定を進めている。

災害対策部は、台風等による大雨被害、地震被害等の情報収集を行い、会員園館へ情報共有した。

感染症対策部は、国内外での感染症事例について、会員園館への情報共有と注意喚起を行った。

1. 執行体制

(1) 構成

委員会：委員長 1 名 副委員長 1 名 委員 3 名

安全対策部：部長 1 名 部員 5 名
災害対策部：部長 1 名 部員 5 名
感染症対策部：部長 1 名 部員 5 名

2. 安全対策部事業

- (1) 昨年度からの検討課題である「安全対策ガイドライン」策定に向け、動物飼育における危険性と事故防止など基本的認識の共有と安全対策方法見直しのため意見交換等を行った。
- (2) 第 28 回日本動物園水族館設備会議
開催日：平成 30 年 10 月 2 日～3 日 開催場所：東京都多摩動物公園
出席者：42 園館 73 名、維持会員 27 業者 64 名、その他 7 業者 12 名、事務局 2 名
研究発表：6 題 宿題調査報告：1 題、全体討議 4 題、ポスター発表 17 題その他懇談事項
- (3) 第 30 回大型動物麻酔研究会
開催日：平成 30 年 10 月 29 日～30 日 開催場所：東京都多摩動物公園
出席者：20 園館 27 名、オブザーバー参加 2 園館 3 名
研究発表：10 題、その他懇談事項
- (4) 第 27 回ゾウ会議
開催日：平成 30 年 12 月 12 日～13 日 開催場所：京都市動物園
出席者：安全対策委員長、専務理事、有識者、44 園館 83 名
研究発表：15 題 ポスター発表：6 題、その他懇談事項
- (5) 人身事故発生への対応
10 月 8 日、鹿児島市平川動物公園でのトラによる死亡事故発生を受け現地調査を行い、安全対策再確認の通知を 10 月 10 日付で会員用HPに掲示した。また、同公園職員に対する研修を安全対策部長が行った。平成 31 年 3 月 10 日、愛媛県立とべ動物園でアフリカゾウによる傷害事故発生を受け、現地調査を実施した。
- (6) 動物飼育における安全対策
安全対策の基準やマニュアル等の他に、過去の事例分析から、ヒューマンエラー防止のための職員研修の必要性を考慮し、その実施方法について検討することとしている。課題となっている「安全対策ガイドライン」の策定を進める。
- (7) 大型動物麻酔研究会
塩酸エトルフィンの入手が困難となる状況について、今後の対応を研究会構成園館で協議し、その確保を進めることとした。
- (8) 動物の脱走事故報告
3 件（チンパンジー、ニホンザル、ミーアキャット）

3. 災害対策部事業

- (1) 7 月 6 日から 8 日、関西中国四国地方での大雨被害、おさかな館での床上浸水のほか、特別警報発令による安全確保や交通アクセス影響等被害が発生、情報収集、会員へ情報共有を行った。
- (2) 6 月 18 日、大阪北部地震（最大震度 6 弱）が発生、情報収集、会員へ情報共有を行った。
- (3) 9 月 4 日、近畿地方での台風 21 号の大雨と強風による被害が発生、情報収集、会員への情報共有を行った。
- (4) 9 月 6 日、北海道胆振東部地震（最大震度 7）発生、情報収集、会員への情報共有を行った。

4. 感染症対策部事業

- (1) 次の感染症の発生事例について情報収集し、会員園館への情報共有と注意喚起を行った。
 - ① 動物園で発生したゾウ血管内皮ヘルペスウイルス（EEHV）感染症
 - ② 動物園で発生したヤギのヨーネ病
 - ③ 岐阜県で発生した豚コレラ、中国で発生したアフリカ豚コレラ
- (2) 「高病原性鳥インフルエンザ」について、各種マニュアルに基づく対応の強化を進めるため、環境省とともに講習会と机上訓練（11月12日仙台市八木山動物公園、12月17日名古屋市東山動植物園）を開催した。2019年、2020年にも各ブロックで開催予定。

V 生物多様性委員会事業

生物多様性委員会は、「国際保全事業部」「保全戦略部」「種保存事業部」で構成し、生物の多様性保全、繁殖表彰、動物名検討など次の事業を実施した。

1. 執行体制

(1) 構成

委員会：委員長1名、副委員長1名、委員3名、外部委員1名
国際保全事業部：部長1名、部員4名
保全戦略部：部長1名、副部長1名、部員6名
種保存事業部：部長1名、部員12名
作業部会：類別事業調整者 12類12名
種別計画管理者・個体群管理者 163種120名
専門技術員 51種174名

(2) 委員会、部会の開催

次の委員会・部会を開催し、関係事業を実施するため、議題に基づく意見交換、検討、問題解決、意思決定等を行った。

1) 第1回生物多様性委員会

開催日：平成30年4月2日～3日 開催場所：協会事務局

出席者：委員長他5名

議題：① 種保存事業の進捗状況の評価について

② 平成30年度事業の実施計画について

③ 繁殖表彰制度の見直しについて

2) 第2回生物多様性委員会（三部合同会議）※会期中、国際保全、保全戦略、種保存の各部会を開催

開催日：平成30年6月12日～13日 開催場所：井の頭自然文化園

出席者：委員長他29名

議題：① 平成30年度事業の執行計画について

② 種保存事業の進捗状況の評価結果について

③ その他の懸案事項について

④ 各部会において部内業務分担、協議事項の検討

3) 第3回生物多様性委員会開催

開催日：平成31年1月31日～2月1日（金） 開催場所：神戸どうぶつ王国

出席者：委員長他5名

- 議題：① 初繁殖認定に関する要綱、細則について
 ② 配偶子バンク事業実施要綱について
 ③ JMS、ZIMS に関する事項について
 ④ ボルネオゾウレスキューについて
 ⑤ アジア連携会議に関する開催支援について
 ⑥ CITES I 類動物移動に関わる環境省への確認書について
 ⑦ 種保存会議の開催準備について⑧経産省連絡会議に関する事項について
 ⑨ CITES I に関わる動物の移動確認について

2. 国際保全事業部事業

(1) 国際的な連携、協働を要する保全への取り組みに関する事項

1) 国際的な連携、協働を要する展示生物の継続的確保や保全への取り組みに関する事項

① 国際会議への参加

- i 第3回 TAG Chairs Meeting に参加して情報収集と JAZA の事業紹介を行った。
- ii 韓国動物園水族館協会の 2018 年研究会に参加し JAZA の種保存事業の紹介を行った。

② アジアおよびその周辺地域でのネットワーク構築やそのサポート事業

- i SEAZA 年次総会への派遣は、今年度は見送った。
- ii 台湾で行われたカワウソ会議に参加して情報収集と JAZA の事業紹介を行った。

③ 飼育下個体群管理のための飼育動物個体情報の管理共有推進

- i Species360 担当者の来日に合わせて協議を行った。
- ii ZIMS 日本語版を完成させ、さらに訳語の精度向上に努めている。
- iii ZIMS 講師養成講習会の開催を検討している。
- iv ZIMS の国内での普及推進に協力した。

・ZIMS 研修会開催

開催日：平成 31 年 3 月 14 日 開催場所：埼玉県こども動物自然公園

出席者：24 園館 33 名（飼育個体情報管理コース 20 名、獣医療情報管理コース 13 名）

講師：4 名

内容：（全体研修）＊研修会の目的

＊ZIMS の概要

＊主な機能と操作法

（コース別研修）＊飼育個体情報管理コース

＊獣医療情報管理コース

④ 海外情報の会員周知

- i 海外情報の HP などによる周知を継続的に行っている。

2) 正会員所属園館の展示生物の収集に関する情報提供、助言及び支援に関すること

- ① 海外の国際血統登録担当者と会員園館のコミュニケーションサポートを実施している。
- ② 特定の種に関する海外飼育状況情報の提供を実施している。
- ③ 国際的な動物管理システムに関する問い合わせ対応を実施している。

3) 種保存事業の実施に係る助言および支援に関すること

- ① GSMP 対象種（特にアムールトラ、スマトラトラ、レッサーパンダ）に関する、連絡調整の支援や助言を実施している。

② 国内の種別計画管理者と海外の国際血統登録担当者のコミュニケーションサポートを実施している。

4) コレクション計画オンラインシステムの運用の支援

コレクション計画オンラインシステムの維持管理担当部署の整理を行い、JAZA 事務局が中心となってシステム管理を行うこととなった。

5) その他国際保全業務に関する事項

必要に応じて随時、適切に対処

3. 保全戦略部事業

(1) 日本の動物園水族館の生物多様性保全戦略に関する事項

次に掲げる各事業活動において One Plan Approach (ワンプラン・アプローチ) の理念に基づき、多様な主体との戦略的連携体制の構築及び維持を図るとともに、委員会の各事業活動における戦略的取組の支援を行なった。

2) 生息域内・域外の統合された保全への取組に関する事項

① 環境省との連携事業を着実に実施し、統合的保全への取組を推進

i ツシマヤマネコの飼育下繁殖・飼育管理等に係る検討業務

a) 飼育管理検討会議 (7月、9月) 及び飼育担当者研修会 (7月) の開催

b) H30-31年飼育下繁殖計画の策定と実施 (9~11月)

ii 希少野生動物の生息域外保全検討業務

a) ライチョウ

種別計画管理者を選任し、種保存事業部へ業務移管したが、引き続き実施に係る助言及び支援を実施

b) アマミトゲネズミ

ア) 平成30年度実施方針に関する打ち合わせ (8月) の実施

イ) 宮崎市フェニックス自然動物園で初めて出産を確認 (9月)

c) ミヤコカナヘビ

宮古島市の希少種保全と外来種問題 (イタチ・クジャク) に係る事業関係者による連絡会議への出席 (7月)

d) その他

小笠原産陸生貝類の生息域外保全の実施体制に関する打ち合せ (10月)

② IPPM-OWS (コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル) との連携

メール等により IPPM-OWS の運営に関する協議を実施した。

3) 正会員所属園館の展示生物の収集に関する情報提供、助言および支援に関する事項

必要に応じて、メール等により実施した。

4) 種保存事業の実施に係る助言及び支援に関する事項

① 個体群管理講習会の開催

1) 第1回個体群管理講習会

開催日：平成30年9月6日~7日 開催場所：井の頭自然文化園

内容：SPARKS 講習 (講師2名)

出席者：20名

- 2) 第2回個体群管理講習会
開催日：平成30年10月29日～30日 開催場所：（公財）横浜市緑の協会
内容：SPARKS講習（講師：3名）
出席者：10名
- 3) 第3回個体群管理講習会
開催日：平成30年12月6日～7日（金） 開催場所：井の頭自然文化園
内容：PMx講習（講師：2名）
出席者：10名
- ② ホルモン測定等各種検査委託
岐阜大学に委託する
- 5) 配偶子バンク及び遺伝子資源保存等に関する事項
 - ① 既存配偶子バンクの維持管理の実施
 - 1) 液体窒素の充填を定期的に行った。
 - 2) 維持管理のための消耗品等を必要に応じて購入している。
 - ② 動物園水族館繁殖研究アライアンス（ZARAS）運営会議の開催
保全戦略部の補助機関と位置づけることを検討中で運営会議は未開催
- 6) ワシントン条約緊急保護動物の寄託管理に関する事項
 - ① 緊急収容発生の都度、適切に対処した
- 7) 動物名検討事業に関する事項
 - ① 動物名検討会議の開催
 - 1) 動物名検討業務に係る打合せ
開催日：平成30年6月11日～12日 開催場所 井の頭自然文化園
出席者：4名
議題：動物名検討について
 - 2) 動物名検討会議
開催日：平成31年1月11日 開催場所：東京都恩賜上野動物園
出席者：2名
議題：i 飼育動物登録について
ii CPOS未掲載種リストについて
 - ② CPOS未掲載種の和名の検討
平成31年度中に検討完了する
 - ③ 掲載済の種の和名の妥当性の再検討
必要に応じ対応する方針を確認
 - ④ 家畜・家禽の品種名、内種の扱いに関する検討（現在、検討中）
- 8) 関係官公庁との連携協働に関する事項
 - ① 環境省との生物多様性保全の推進に関する連絡調整会議の開催
 - 1) 平成30年度生物多様性保全の推進に関する連絡調整会議開催
開催日：平成31年1月18日 開催場所：井の頭自然文化園
出席者：環境省11名、日動水9名
議題：i 生物多様性保全の推進に関する基本協定書に基づく取組状況

ii 環境省からの話題提供

iii 日動水からの話題提供

2) 経済産業省との連絡調整に関わる事前打合せ

開催日：平成30年6月12日 開催場所：井の頭自然文化園

出席者：7名

議題：経済産業省との連絡調整に向けた課題確認について

② その他の官公庁との連携協働に関しては必要に応じて適切に対処している。

9) その他保全戦略業務に関する事項

2018 新宿御苑みどりフェスタにおける外来種対策普及啓発活動（環境省と共同の展示ブース出展）に参加した。

3. 種保存事業部事業

(1) 種保存事業に関する事項

1) 平成31年度種保存会議開催準備

2) 各作業部会等

① インドサイ計画推進会議

開催日：平成30年6月12日 開催場所：名古屋市東山動物園

出席者：8名

議題：i 繁殖のための移動計画について

ii 各園での飼育状況について、その他

② チンパンジー計画推進会議

開催日：平成30年6月21日～22日 開催場所：旭川市旭山動物園

出席者：8名

議題：i 平成30年度繁殖計画進捗状況について

ii 平成31年度繁殖計画について

iii 飼育ガイドラインについて、その他

③ アジアゾウ計画推進会議

開催日：平成30年7月4日 開催場所：東京都恩賜上野動物園

出席者：18名

議題：i 前年度計画の進捗

ii 今年度計画推進会議の構成員について

iii 今年度の管理計画の策定について

iv ガイドラインの作成について

v 飼育下のゾウを取り巻く課題への対応について

④ コアラ計画推進会議

開催日：平成30年7月9日～10日 開催場所：名古屋市東山動物園

出席者：31名

議題：i 個体群管理目標について

ii 南方系のコアラの保存について

iii 繁殖計画について

iv 海外からのコアラの導入について

- v コアラの飼育ガイドラインの策定について
- vi 平成 29 年コアラ国内血統登録状況報告
- vii 各園館からの飼育状況報告、研究発表
- viii レトロウイルスに関する検査について
- ix 飼育下コアラにおけるストレス評価について、その他

⑤ ツシマヤマネコ計画推進会議

開催日：平成 30 年 7 月 10 日 開催場所：横浜市技能文化会館
出席者：30 名

- 議題： i 計画推進体制について
ii 移動原案作成について
iii ツシマヤマネコ飼育下個体群(野生復帰対象外)管理ハンドブックの改訂について他

⑥ マンドリル計画推進会議

開催日：平成 30 年 8 月 20 日～31 日 ※メール会議
出席者：5 名

- 議題： i 現状と課題の確認について
ii 海外からの導入個体の SPARKS、PMx での取扱いについて
iii 飼育ガイドラインについて
iv 今後の計画推進会議について

⑦ ユーラシアカワウソ計画推進会議

開催日：平成 30 年 9 月 13 日～14 日 開催場所：横浜市立よこはま動物園
出席者：30 名（第 1 日目）、12 名（第 2 日目）

- 議題： i 台湾でのユーラシアカワウソ保全について
ii JAZA ユーラシアカワウソの遺伝的解析結果について
iii 繁殖生理と繁殖に向けた管理について
iv 「世界カワウソの日」の実施イベントについて
v 亜種の定義について
vi 計画案について
vii ハンドブック作成について

⑧ スマトラトラ計画推進会議

開催日：平成 30 年 9 月 19 日～20 日 開催場所：横浜市立よこはま動物園
出席者：8 名

- 議題： i 各飼育園の現況報告
ii 今後の繁殖計画と具体的な取り組みについて
iii 第 4 回 GSMP 会議報告
iv トラ飼育ハンドブック作成について

⑨ テナガザル類計画推進会議

開催日：平成 30 年 9 月 19 日～20 日 開催場所：愛媛県立とべ動物園
出席者：26 名

- 議題： i 2017 年個体移動の報告および 2018 年の個体移動について
ii 飼育マニュアルおよびガイドラインの作成について

⑩ 霊長類作業部会開催

開催日：平成 30 年 9 月 20 日～21 日 開催場所：愛媛県立とべ動物園

出席者：20 名

- 議題： i 霊長類 JCP の進捗状況と今後の取り組みについて
ii 飼育ガイドラインの進捗状況と今後の進め方について

⑪ アムールトラ計画推進会議

開催日：平成 30 年 10 月 1 日～2 日 開催場所：神戸市立王子動物園

出席者：9 名

- 議題： i 現状報告
ii 2019 年の種管理計画案について
iii トラ飼育ハンドブックについて、その他

⑫ ホッキョクグマ計画推進会議

開催日：平成 30 年 10 月 3 日～4 日 開催場所：仙台市八木山動物公園

出席者：27 名

- 議題： i 国内飼育下ホッキョクグマの現状と課題の確認
ii 国内飼育下ホッキョクグマの移動計画の策定
iii 演題発表（3 題）、その他

⑬ ペンギン類作業部会

開催日：平成 30 年 10 月 10 日～11 日 開催場所：長崎ペンギン水族館

出席者：15 名

- 議題： i 各種別中間報告および課題について
ii 飼育ガイドラインについて、その他

⑭ ライチョウ計画推進会議

開催日：平成 30 年 10 月 18 日～19 日 開催場所：新井総合コミュニティセンター（新潟県妙高市）

出席者：26 名

- 議題： i 平成 31 年度飼育下繁殖に向けた計画策定
ii 飼育・治療に関する課題検討（ライチョウ・スバルバルライチョウ）、その他

⑮ 魚類作業部会

開催日：平成 30 年 10 月 23 日～24 日 開催場所：東京都恩賜上野動物園

出席者：21 名

- 議題： i 種別中間報告について
ii ガイドライン作成について
iii 環境省より新たな種保存法対象種の生息域外保全について説明
iv 淡水魚・海水魚の新たな種別対象種について
v 日本産希少魚類の種保存活動 30 周年記念行事について、その他

⑯ チーター計画推進会議

開催日：平成 30 年 10 月 25 日～26 日 開催場所：伊豆アニマルキングダム

出席者：24 名

- 議題： i チーター計画推進会議メンバーの変更について
ii チーター移動計画案及びガイドライン策定について

- iii 2017 年度国内血統登録調査結果報告
- iv 外部招へい者発表・各園館近況報告・課題について
- v チーター飼育ハンドブック更新、ガイドライン策定について
- vi 感染症対策について
- vii 種別計画管理者まとめ、その他

⑰ マレーバク計画推進会議

開催日：平成 30 年 10 月 26 日 開催場所：横浜市立よこはま動物園

出席者：13 名

- 議題：i 国内のマレーバクの現状と今後の繁殖計画の進め方について
- ii 各園報告
 - iii バク科飼育ガイドラインについて
 - iv 次回開催について

⑱ スナメリ計画推進会議

開催日：平成 30 年 11 月 15 日 開催場所：サンシャイン水族館

出席者：10 名

- 議題：i 国内におけるスナメリの飼育状況および今後について
- ii 各園館からの報告、その他

⑲ 小型鳥類作業部会

開催日：平成 30 年 11 月 20 日 開催場所：東京都恩賜上野動物園

出席者：12 名

- 議題：i 生物多様性委員会三部合同会議報告
- ii 各種別報告
 - iii 小型鳥類 JCP の見直しについて
 - iv 各種飼育ハンドブックの作成について、その他

⑳ 食肉類作業部会

開催日：平成 30 年 11 月 20 日～21 日 開催場所：大阪・海遊館

出席者：22 名

- 議題：i 担当者変更について
- ii 生物多様性委員会三部合同会議報告
 - iii ガイドライン進捗状況
 - iv ハンドブック進捗状況報告
 - v 各種別報告
 - vi 各種別のカテゴリー変更、その他

㉑ ニホンイヌワシ計画推進会議

開催日：平成 30 年 11 月 21 日 開催場所：秋田市大森山動物園

出席者：12 名

- 議題：i 2018 年 10 月末現在の飼育下個体群全体について
- ii 各園の状況について（2018 年および 2019 年シーズンに向けて）
 - iii 飼育下個体群の将来について
 - iv 2019 年繁殖計画について

v 環境省保護増殖事業WGについて、青梅とその子孫の評価について、その他

② ニホンコウノトリ計画推進会議兼 IPPM-OWS 作業部会

開催日：平成 30 年 11 月 26 日 開催場所：東京都恩賜上野動物園

出席者：28 名

議題：i 平成 30 年のコウノトリの域外における状況について

ii 平成 31 年の繁殖、移動計画について、その他

③ 両生爬虫類作業部会

開催日：平成 30 年 12 月 20 日 開催場所：東京都恩賜上野動物園

出席者：19 名

議題：各種別計画管理者・個体群管理者報告、その他

④ グレビーシマウマ計画推進会議

開催日：平成 31 年 1 月 29 日～30 日 開催場所：京都市動物園

出席者：11 名

議題：i 平成 30 年度繁殖計画進捗状況及び現状報告

ii 平成 31 年度繁殖計画案

iii 飼育ガイドラインの作成について

⑤ オオアライクイ計画推進会議

開催日：平成 31 年 2 月 14 日 開催場所：名古屋市東山動物園

出席者：6 名

議題：i 現在の状況について

ii 食餌マニュアルの作成について

iii 繁殖マニュアルの作成について

iv 今後のペアリング、移動について

v 次回の開催について

⑥ ニシゴリラ計画推進会議

開催日：平成 31 年 3 月 6 日 開催場所：東京都恩賜上野動物園

出席者：6 名

議題：i 各園飼育状況報告

ii 今後の繁殖計画、課題

iii 海外との連携等について

iv ガイドライン作成について

⑦ ロリス・マーモセット類、キツネザル類合同計画推進会議

開催日：平成 31 年 3 月 6 日～7 日 開催場所：東京都恩賜上野動物園

出席者：8 名

議題：i 事務連絡

ii 各種平成 30 年度繁殖計画進捗状況および平成 31 年度繁殖計画

iii 全体確認事項

(2) 繁殖表彰に関わる事項

平成 30 年度の繁殖賞については休止

(3) 動物名の検討に関わる事項

1) CPOS稼働後の未掲載種取り扱いについての検討

(4) その他

1) 日本ツル・コウノトリネットワーク

2) 愛鳥懇話会

VI 地域委員会・ブロック事業

地域委員会は、協会の全国地域5ブロックを統括、指導・調整する組織で、地域園館の活性化、人材育成、地域での協会事業など次の事業を実施した。

1. 執行体制

(1) 構成

委員会：委員長1名 副委員長1名 委員3名

(2) 委員会の開催

第1回地域委員会

開催日：平成30年11月21日 開催場所：京都市動物園

出席者：委員長他4名

議題：① 各ブロック報告

② 委員会活動、その他

2. 事業の実施

(1) 地域園館の活性化に関する事項

動物愛護精神の普及啓発及び地域との交流を図るため、次の事業を実施した。

1) 幼児・児童動物画コンクール(関東東北・北海道ブロック内の北海道ブロック)

2) 写生大会(中部ブロック)

(2) 地域での協会事業に関する事項 ここから

会員園館職員の人材育成を図るため次の事業を実施した。

1) 事務主任者会議

ブロック別	開催場所	開催年月日	参加者	備考
関東東北・北海道	足立区	31. 2. 6～7	34 園館 48名	
中部	下田	30.11.15～16	11 園館 15名	
近畿	京都水	31. 2.20	18 園館 24名	
中国四国	宮島	30. 6.26	12 園館 17名	
九州沖縄	九十九	31. 1.24～25	14 園館 19名	

2) 動物園水族館飼育係研修会

① 動物園飼育係研修会

ブロック別	開催場所	開催年月日	参加者	備考
関東東北・北海道	横浜動	30. 6.28	28 園館 65名	
〃	羽村	30.10. 4	29 園館 49名	
〃	八木山	31. 1.30	26 園館 44名	
中部	大町	30. 6.21～22	19 園館 26名	※水族館と合同
近畿	姫セン	30. 6.28～29	12 園館 24名	
中国四国	安佐	31. 2.26～27	10 園館 22名	
九州沖縄	海中動	30.12.13～14	12 園館 25名	※水族館と合同

② 水族館飼育係研修会

ブロック別	開催場所	開催年月日	参加者	備考
関東東北・北海道	サケ館	30. 12. 10～11	19 園館 31 名	
中 部	碧 南	30. 11. 07～08	21 園館 29 名	※動物園と合同
近 畿	海遊館	30. 6. 13～14	11 園館 24 名	
中国四国	玉 野	31. 2. 20～21	7 園館 17 名	
九州沖縄	長ペン	31. 2. 13～14	10 園館 20 名	※水族館と合同

3. ブロック園館長会議

次のブロック園館長会議を開催し、ブロック内事業を実施するため、議題に基づく意見交換、問題解決、意思決定等を行った。

ブロック別	開催場所	開催年月日	参加者	備考
関東東北・北海道	すみだ	30. 4. 10～11	54 園館 71 名	
〃	弥 生	30. 10. 25～26	45 園館 58 名	
中 部	南知多	30. 4. 19～20	22 園館 23 名	
〃	日本平	30. 10. 25～26	25 園館 25 名	
近 畿	天王寺	30. 4. 12	22 園館 32 名	
〃	京 都	30. 10. 15～16	21 園館 30 名	
中国四国	高 知	30. 4. 18～19	16 園館 19 名	
〃	しまね	30. 11. 15～16	16 園館 22 名	
九州沖縄	フェニ	30. 4. 12～13	18 園館 23 名	
〃	海中水	30. 10. 17～18	18 園館 21 名	

VII 事務局事業

協会事務局は刊行物、CITES 保護、野生動物保護募金など次の事業を実施した。

1. 執行体制

専務理事 1 名、事務局長 1 名、職員 3 名、嘱託 1 名

2. 事業の実施

(1) 統計、刊行物に関する事項

1) 年報の発行

動物園水族館に関する管理者・職員数・飼育動物数・入園館者数・経費・繁殖動物などを調査し、会員園館及び関係機関に配付するとともに、一般にも有償頒布する。

※平成 30 年 7 月発行 450 部

2) 事業概要の発行

協会の概要・会員・役員・各種会議・事業など集約し、会員園館に頒布するとともに関係機関にも配付する。

※平成 30 年 9 月発行 550 部

3) 月報の作成

会員園館の事業報告、各種会議報告、事務局報告などを毎月作成し、会員用 HP に掲載するとともに、維持会員にもメール配信し、情報提供を行った。

4) 飼育ハンドブックの増刷等

動物園編第 3 集 500 部

5) 動物園水族館雑誌の発行

動物園水族館雑誌 60 巻第 1 号～第 4 号 各 650 部

(2) 会費に関する事項

次の関係団体に加入し、総会へ出席するなど情報交換を行うとともに、種保存など連携を図った。

- 1) 日本博物館協会 (30 千円)
- 2) 国際自然保護連合(IUCN) (239 千円)
- 3) 国際自然連合日本委員会(IUCN-J) (30 千円)
- 4) 保全計画専門家集団(CPSG) (387 千円)
- 5) 世界動物園水族館協会(WAZA) (327 千円)
- 6) 日本ツル・コウノトリネットワーク (5 千円)

(3) 野生動物保護募金に関する事項

野生動物の保護活動に積極的に取り組むため会員園館に募金箱を設置し、来園者などから広く寄付金を募り、野生動物の保護活動事業に助成した。

募金設置園館 134 園館 1 施設 156 基 平成 30 年度募金額 7,625 千円

- 1) 野生動物保護募金事業助成 10 件 3,872 千円

(4) 総会・理事会等に関する事項

1) 総会

開催日：平成 30 年 5 月 17 日～18 日 開催場所：かごしま水族館・城山ホテル鹿児島

2) 理事会・執行理事会・三役会議

① 理事会 5 回開催

② 三役会議 1 回開催

(5) 監査に関する事項

平成 30 年度の事業報告及び決算報告について、2019 年 5 月 8 日に監事による監査の実施

(6) 新入会員調査に関する事項

平成 30 年度新入会員無し

(7) 法人管理運営に関する事項

会議経費、人件費等執行した。

VIII 公益目的・法人の共通事業

職員給与、役員報酬、修繕・委託費、事務所費等を執行した。

IX 決算概要(正味財産増減計算書内枠書抜粋)

(単位:円)

科目	公益目的会計	法人会計	合計
I 一般正味財産			
1. 経常増減の部			
1) 経常収益			
基本財産運用益	210	90	300
特定資産運用益	465	738	1,203
受取入会金	72,000	168,000	240,000
受取会費	12,240,000	28,560,000	40,800,000
事業収益	28,878,446	0	28,878,446
受取補助金等	24,084,273	0	24,084,273
受取負担金	6,094,266	1,750,000	7,844,266
受取寄付金	7,824,954	513,404	8,338,358
雑収益	735,610	179,974	915,584
経常収益計	79,930,224	31,172,206	111,102,430
2) 経常費用			
事業費	107,167,835	0	107,167,835
管理費	0	20,226,455	20,226,455
経常費用計	107,167,835	20,226,455	127,394,290
当期経常増減額	△27,237,611	10,945,751	△16,290,860
2. 経常外増減の部			
1) 経常外収益	158,300	0	158,300
2) 経常外費用	727,119	0	727,119
当期経常外増減額	△568,819	0	△568,819
他会計振替額	5,000,000	△5,000,000	0
当期一般正味財産増減額	△22,806,430	5,945,751	△16,860,679
一般正味財産期首残高	19,932,872	33,255,928	53,258,800
一般正味財産期末残高	△2,873,558	39,271,679	36,981,121
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金	0	0	0
受取寄付金	8,618,611	0	8,618,611
助成金返還額	84,602	0	84,602
特定資産運用益	132,492	0	132,492
一般正味財産への振替額	△5,913,327	0	△5,913,327
当期指定正味財産増減額	2,992,378	0	2,992,378
指定正味財産期首残高	145,676,498	0	145,676,498
指定正味財産期末残高	148,598,876	0	148,598,876
III 正味財産期末残高	145,725,318	39,271,679	184,996,997

第4章 事業の課題

平成30年度の事業計画に基づき執行委員会及び協会事務局として事業を実施してきたが、今年度以降の主な検討課題は次のとおりである。

I 総務委員会

1. 倫理福祉に関する事項
 - 1) 倫理福祉規程実施要綱の見直しならびに改正
 - 2) 「正会員入会審査要綱」の見直しの検討
 - 3) 動物福祉に係る情報収集ならびに事業の展開
2. 会費改正に関する事項
3. 定款・諸規程の改正に関する事項
4. その他法人に関する事項
5. 栄養部会の今後の活動について
6. 水族館部会の今後の活動について

II 教育普及委員会

1. 関係省庁との連絡強化
環境省との連絡を密にとり、効率的・効果的な協力体制で社会への普及啓発に努める。
2. 委員会内部事業の見直し
委員会各部の事業・作業については、定例事業については遺漏なきよう実施することに加え、進捗の見られない事業・作業については進め方の再検討を行う。
3. 新飼育ハンドブックの再編纂を行う。

III 安全対策委員会

1. 安全対策部
動物飼育・管理に係る情報収集ならびに安全対策ガイドラインの検討・作成
2. 災害対策部
災害対策マニュアルに係る情報収集ならびに基本ガイドラインの検討・作成
3. 感染症対策部
 - 1) 感染症対策部検疫マニュアルに係る情報収集ならびにマニュアルの作成

IV 生物多様性委員会

1. 国際保全事業部
 - (1) 展示生物の継続的確保に関する協会の世界戦略に関すること
 - 1) アジアならびにその周辺地域との連携強化
 - 2) 国際的なコレクション計画（ICAP）への対応
 - 3) ZIMSの普及推進
2. 保全戦略部
 - (1) 配偶子バンク事業の実施体制についての検討
 - (2) 種保存事業の実施に係る助言及び支援

(3) 動物名検討業務

3. 種保存事業部

(1) JCP の推進

V 地域委員会

加盟園館の活性化及び社会における役割を達成することを目的とする事業を効果的かつ、効率的に進めるための検討を行う。

VI 協会事務局

1. 事務局内作業の効率化、保存文書の電子化を推進する。